

帝京大学ラーニングテクノロジー開発室



Learning Technology Laboratory,
Teikyo University



帝京大学

帝京大学 学長 冲永 佳史

ラーニングテクノロジー開発室は、2003年に開設されました。以来、昨今の教育活動全般に内在する諸課題に関する研究とともに、各課題に対する新たな提言を交えて、ICTを活用した多様な学修形態の構築を地道に続けてまいりました。大学が各課程において制定したディプロマポリシーに基づき、カリキュラムを構成し、教育活動を展開することが求められる今の状況下では、アウトカムに視点を置いた一連の学修内容を定め、その到達目標を目指して学生に汗をかいてもらわなければなりません。しかし、それには授業内容の質的な向上が求められるばかりではなく、教授される事柄を学生自身が知識として蓄積し、それを使いこなし応用ができるようになる学修プロセスを、多岐にわたって展開することが肝要かと思われます。

本学の建学の精神を鑑み、また中央教育審議会の答申を援用すれば、論理的思考の醸成や批判的な物の見方を身につけること、そして、個を確立しつつコミュニケーション能力や寛容さを身につけることが、これからの時代を生きる人材の育成にあたって殊に求められており、これらは自発的な学修プロセスと密接にかかわる事柄でもあります。このことを、教授する側が意識しているか、あるいは教授する側がこれを実現する力を備えているかは、今後の教育活動の発展において、非常に重要な要因になることは間違いないでしょう。

その中でICTの役割とは何か、そして付随する教育システムは何かを追求することは、ラーニングテクノロジー開発室の重要なテーマであり続けるのです。



帝京大学ラーニングテクノロジー開発室 室長 小島 一晃

帝京大学ラーニングテクノロジー開発室は2003年に宇都宮キャンパスに設置されて以来、情報通信技術(ICT)をベースとした学習のためのテクノロジーの研究開発、教育における活用支援、学内普及などの活動に取り組んでまいりました。その中心には、LMSや講義ビデオ配信システムといった教育・学習の基盤となる情報システムの活用支援があります。ただしこれらは手段であり、教育学習の機会とその効果の拡張を大目標として、その達成にはICTの支えが不可欠であるというのが、設置以来の本室の一貫した考え方です。

テクノロジーには「社会を支える基盤技術」と「人(ヒト)がより良い活動をするために身に付ける技術(わざ・すべ)」という、二つの側面があります。後者は教授者の教育に関するスキル、ならびに学生の学習に関するスキルであり、これらも支援の対象に含めたICTの適用手法である「ラーニングテクノロジー」の開発は、我々の重要なミッションです。昨今のテクノロジー動向の変遷は目まぐるしいものがあります。そうした変遷に応じた研究開発を進めながら、帝京大学におけるファカルティ・ディベロップメント(FD)をテクノロジーの側面から支援してゆきたいと考えております。

より良い授業の実現に ラーニングテクノロジーをご活用ください

教育・学習場面の支援に特化した情報通信技術 (ICT : Information and Communication Technology) を、「ラーニングテクノロジー (LT)」と呼んでいます。

LTには、授業やゼミなどを支える「**基盤技術**」としての側面と、学生個人の学習能力などの「**個人が身に付けるスキル**」としての側面があります。ラーニングテクノロジー開発室 (以下、LT開発室) は、教育・学習活動を支える基盤技術を開発・整備することと、学生の自己学習力を開発することを目指します。

多様な学習モードによる、授業時間内外の両方を見据えた授業設計

何が最適な学習方法 (学習モード) かは、学習の内容や経験によって異なります。

学習方法 (学習モード) の例

講義を聴講する

教科書を読む

小テストを受験する

クラスメイトとディスカッションする

左記の方法を組み合わせる

ラーニングテクノロジー (LT) は、多様な学習モードを学生に提供し、学生自身による選択と自分のペースでの学習を可能にします。授業へのLT導入により、授業時間内外の両方を見据えた授業設計と学習支援が容易になり、それは学生の自学自習の促進と自己学習力の育成にもつながります。

ラーニングテクノロジー (LT)

- ◆インストラクショナルデザイン
- ◆教員・学生のICT能力
- ◆情報システム・ITツール
- ◆学習管理システム (LMS)
- ◆ビデオ教材配信システム

LT活用授業支援

- ◆LT活用の相談サービス
- ◆学生補助員によるLT活用支援
- ◆LTセミナーの実施
- ◆ヘルプデスク
- ◆教材作成支援 など



教員



授業聴講



グループ学習



自己学習

学生



LTの導入により…多様な学習モードの提供

LT導入にともなう負荷を軽減するために LT開発室がサポートします

LT開発室は、帝京大学における継続的な授業改善にむけたLTの開発と普及を促進することを目的とし、以下の業務を行います。

開発

授業改善のためのLTの開発

普及

LTによる授業改善の普及活動

支援

授業の電子化および
インターネット授業の支援

研究

LTに関する調査・研究

ご利用いただけるサービスとシステム

学習管理システム (LMS)

教育と学習を支援するシステムです。授業用のWebページを簡単に作成することができます。授業資料やテスト、課題などの教材配信や、連絡事項配信、メールなどの学生とのコミュニケーション、学習履歴の管理などに使用できます。また、組織内の情報共有など、授業以外でも活用できます。LMSはインターネットから利用が可能です。



ビデオ教材の収録・配信

ビデオ教材を作成、配信するシステム (Mediasite) を導入しています。PC画面とカメラ映像を組み合わせたビデオ教材を作成する機能を持ちます。ビデオはLMSから配信ができます。

ポータル機能MyMediasiteにより、PCなどで作成したビデオをアップロードしてLMSから配信することも可能です。



アクティブラーニング教室 (TNec)

宇都宮キャンパス本部棟2号館101教室 (TNec1) と201教室 (TNec2) は、ICT活用型アクティブラーニング教室です。協同作業のための装置がグループごとに設置され、学生個人の情報端末の画面をグループ内や教室全体で共有することができます。TNec1とTNec2で互いに音声・映像を送信し、2教室一体での授業も可能です。



コンサルテーション・相談サービス

LT活用に関する様々なコンサルテーションのご要望にお答えします。例えば、授業設計、LMSやその他ICTの活用、教材作成の方法などをご相談いただくことができます。ご相談は、電子メールや電話でお申し込みください。



LTセミナー

LTを活用した授業改善についての情報を、教職員の間で共有することを目的としてご参加いただくセミナーです。LMS講習会とLTに関する講演が定期的実施されています。

「LTを活用した授業をどのように進めるのか」

「どのようにすれば、わかりやすい授業を提供できるのか」

「学生の学習力を育成できるのか」などについて、意見交換ができます。



教材開発支援

授業教材の電子化の支援や、LMSへの教材掲載などの支援を受けることができます。また、インストラクショナルデザインに基づいたWeb教材の開発支援などもご利用いただくことができます。

学生補助員制度 (LTA)

LTを活用した教育・学習活動の支援のために、LT開発アシスタント (LTA) という学生補助員制度が導入されています。LTAは、教員の作成した教材の電子化や、ビデオ撮影の補助、コンピュータ教室での授業補助、LMSへの教材掲載、アンケート集計など、LT活用の負荷を軽減するための活動を行います。



ニュースレター

LT開発室からの情報発信として、年2回発行されています。LTに関するトピックやLTの活用の様子、LMS Tipsなどを紹介しています。

【過去のニュースレターは、LT開発室Webサイトよりご覧いただけます】<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

ヘルプデスク

LT活用に関する様々な質問や相談に、キャンパスごとの関係部署と連携してお答えします。裏表紙の「サービス窓口リスト」に記載の窓口までお問い合わせください。



交通案内

帝京大学 ラーニングテクノロジー開発室 (帝京大学宇都宮キャンパス内)

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1

TEL: 028-627-7243

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

E-mail: LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

公共交通機関でお越しの場合

JR東北新幹線・宇都宮線「宇都宮駅」下車
西口バスのりば 関東バス5番より
「豊郷台・帝京大学行き」「ニュー富士見行き」
「宇都宮美術館行き」のいずれかに乗車し、
「帝京大学」下車(約20分)



サービス窓口リスト

- 相談サービスの希望
- ビデオライブラリの利用
- LTAの派遣



LT開発室
(宇都宮)

- LMSの利用
- 資料入手の希望



各キャンパス
窓口
右記参照

キャンパス		窓口
板橋	授業・試験関連	事務部教務課(授業・試験係)
	実習関連	事務部教務課(実習係)
	大学院関連	事務部教務課(大学院係)
八王子		情報処理センター
宇都宮	ID関連	宇都宮キャンパス教務チーム
	その他	LT開発室
福岡		事務部総務課
上記以外		LT開発室

LT 開発室スタッフ



室長 小島一晃 准教授
【教育学・認知科学】
人の問題解決・学習・創造を科学的に探究するとともに、その知見に基づいて工学的支援を実現する研究を行っています。



古川文人 准教授
【教育学・計算機システム】
教育の質の向上を目指して、教授学習支援システムの設計と活用方法に関する研究を行っています。



天野由貴 講師
【教育学・学習支援システム】
ICTを活用することでいかに教育効果を向上できるかという研究を行っています。また、インストラクショナル・デザインの観点から、より理解しやすくより理解度が深まる教材設計についても研究しています。



宮崎誠 助教
【教育学・教授学習支援システム】
教育の効果・効率・魅力の向上を目指し、授業設計とシステム開発の両面からアプローチした学習支援に関する研究を行っています。

その他、技術職員と事務職員が、LT開発室のサービス提供にあたっています。